

令和4年度 第1回 学校運営協議会を開催しました。

稲田小・中学校は、令和2年度より「コミュニティ・スクール」を導入しています。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくため、学区内から参加する委員さんと学校代表者（校長・教頭・関係教諭等）で「学校運営協議会」を構成して協議を進めてまいります。

先日5月10日（火）に、第1回学校運営協議会を開催しました。学校側より教育目標や目指すべき児童生徒像、学校運営の基本方針等、小・中学校それぞれの教育活動についての説明があり、学校や地域の課題・今後の予定等について話し合いが行われました。笠間市教育委員会生涯学習課からも担当者に参加していただき、笠間市内の他の学校での様子などの情報提供をしていただきました。



昨年度は、新型コロナウイルス感染対策の観点から、学校教育活動もかなり制限されてしまいました。この状況は今後も続くと思いますが、学校運営協議会としても、児童生徒たちの教育活動のためにできることから協力をしていきたいと考えております。協議会で話題になったことや各方面でご協力をいただいている取組みの様子などを「コミュニティ・スクールだより」を通して、地域の皆様にもお伝えしていきます。

話題となったこと

○は成果等、●は課題

- 防犯見守り隊は、学校運営協議会の委員の中にも活動してくれている方がいます。児童生徒の安全な登下校につながっています。（学校より）
- 読み聞かせなどの各種教育ボランティア・ゲストティーチャーによる出前授業等、児童生徒のためになっています。教育効果も大きく、今後ご協力をお願いします。（学校より）

※防犯見守り隊（現在の登録29名）は、令和2年度より活動をしています。また、各種教育活動ボランティア・ゲストティーチャーの活動の様子や募集などについては今後お知らせしていきます。

- 稲田小きずな園（中学校運動場下の水田）の中学校側の土手の草刈りは、協力くださっている地域の方で行っています。「子供たちのために」という思いから活動しています。
(協議会委員：稲田小きずな園の協力者より)
- PTA 活動に協力してくれる保護者が少なくなっている。また、地域の行事や集会などへの参加や協力者も減って、役員などの受け手がいない。(協議会委員：PTA会長・区長より)

※「大変だ」という思いから躊躇されているのかもしれませんが、この学校運営協議会では、「児童生徒たちのために」という思いを持ち、少しでも負担感なくできることについて協議を進めながら、教育活動に協力してまいります。

稲田小（児童数183名）稲田中（生徒数118名）と数が減少していますが、この小規模の学校の特色を生かし、地域とともにある学校づくりを目指します。児童生徒たちが地域の方々と顔がわかる関係になり、元気で気持ちの良い挨拶が響く地域になればと考えています。また、地域の行事や地域の方々の専門性などを生かした教育活動を実現し、多様な経験を積み重ねることで「ふるさとを愛する子供」を育てていきます。